

外国の方と考える“和の住まい文化劇場”

International Workshop on "Traditional Culture, Housing and Life in Japan(Osaka)"

—大阪くらしの今昔館と吉田家住宅で紡ぐ

和の住まい文化 体感to共感

2017/2/4(土)~6(月) 2/8(水)



上方の生活文化 を感じる一日

A Day Experience on Traditional Culture and Life in Osaka

参加者募集

江戸時代の大阪のまちを再現した大阪くらしの今昔館と、今も生活の場である吉田家住宅(1921年建築。国登録文化財)を舞台に、“和の住まい文化”を感じ、考える

外国の方向け For international participants

大阪・和の暮らしを体験する会

Look and Feel of Housing and Life in Edo-Period and Modern Osaka

2月4日(土)・5日(日)・6日(月)

12:15~18:00

〔大阪くらしの今昔館&吉田家住宅〕

- 江戸時代の大阪のまちを実物大で再現した今昔館を舞台に、“和の住まい文化”を体験する
- 参加者(外国の方)は和服の着付けから、江戸時代の日常にタイムワープし、町家をめぐる演劇に参加する
- 日本の住まいで織りなす書道・茶の湯・上方舞、現在につづく上方文化の粋(すい)を吉田家住宅で体験する

「上方の生活文化」を考える シンポジウム

Symposium on "Traditional Culture and Life in Osaka"

2月8日(水)

13:30~17:00

〔大阪市立住まい情報センター 3階ホール〕

- 和の住まいとともに、今も暮らしの場に生きている上方の生活文化を専門家による実演を通じて学ぶ
- 「大阪・和の暮らしを体験する会」によって発見された、和の住まいの異文化コミュニケーションにおける問題点や相互交流のあり方を、関西総領事館の皆さま、プログラム参加者、関西在住の外国の方、留学生、有識者、専門家とともに考える

大阪市立住まいのミュージアム

大阪くらしの今昔館



The Osaka Museum of Housing and Living

協力：大阪ガス エネルギー・文化研究所

「上方の生活文化」を考えるシンポジウム

Symposium on "Traditional Culture and Life in Osaka"

2017年 2月8日(水) 13:30~17:00 [受付 13:00より]

会場: 大阪市立住まい情報センター3Fホール

大阪・和の暮らしを体験する

江戸時代の大阪・船場にお迎えした外国からのお客さまたちと町家をめぐり、ご案内した「町家劇場」(演出・構成: 上田一軒氏)と、吉田家住宅の上方生活文化を体験した文化プログラムのダイジェスト映像にて学んでいただきます

● 大阪くらしの今昔館



江戸時代の大阪の町家をリアルに再現

● 吉田家住宅



1921年に建築され
今も生活の場である
国登録文化財

プログラム

- 開会・挨拶
- [映像上映]
「大阪・和の暮らしを体験する会」
を振り返って
- [問題提起]
「大阪・和の暮らしから、なにを学ぶのか」
(大阪くらしの今昔館 谷直樹館長)
- [文化体験]
「大阪・和の住まい文化」を体験する
「書」「上方舞」「茶の湯」
「上方料理」(日本料理「かこみ」)
「400年前の大阪に流れた洋楽」
(日本テレマン協会)

- [討論会]
“和の住まい文化”を考える
- 閉会 (17:00予定)

和の住まいをみんなで考える

現代につづく江戸時代にあった“上方の住まい文化”を体験し、その本質を外国からの目線と日本からの目線で発掘し、今、そしてこれからの生活文化に何を学ぶべきかをみんなで考えていきます

400年前の大阪に流れた洋楽を聴く

天正遣欧使節が1591年に豊臣秀吉に演奏し、3度もアンコールしたといわれる「千々の悲しみ」。関西を中心に活躍中のテレマン・アンサンブルとテノール歌手鹿岡晃紀さんに400年前に流れた洋楽をご披露いただきます



テレマン・アンサンブル

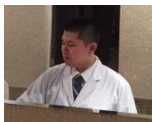
1963年に指揮者・坂原誠吉が結成。アンサンブルを母体としたオーケストラ(テレマン室内オーケストラ)はこれまでにテレマン作曲「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」等の作品を本邦初演。86年にサントリー音楽賞を受賞。90年から古楽館による演奏を本格的に始め、06年「ベートーヴェン交響曲第5番」を初演。楽譜「レプリカを含む」と作曲者が提示したテンポに基づいて演奏公演。各編曲を併せて団体であり、總称として「日本テレマン協会」という。

江戸時代の大阪を食べる

江戸時代の大阪・道修町の会場で提供された接待料理を、大阪・堂島で活躍中の天才日本料理人「かこみ」店主 梅山一希氏が現代的視点で再現(映像をもとに解説いただきます)

[献立例]

御附之御酒
雑煮(のしもち、平かつお、青こんぶ)
碗蒸(かまぼこ、海老、玉子、こうたけ、はしかみ)
御上斗木具、吸いもの(茂魚、ミル)、大鉢(鯛煮焼)、同(作り身)并鉢(したしもの) 此代廿九匁九分
膳部
膾(すすき、岩たけ、大根白髪(汁:しゅんさい、赤貝)
香物:なら漬、茶子、大こん))
平(玉子、すりみ、かふら、しいたけ)
菓子わん(鯛骨きり、うと、松露)
御上斗、焼物(鯛、塩焼)
御中はたひ
此代廿六匁六分



上方の生活文化を感じる

今に息づく上方生活文化の数々を具体的なパフォーマンスを通じて学んでいただきます

●書道



●上方舞



●茶の湯



本プロジェクトは、内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局の委託により、平成28年度オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査として実施しています。

● 開催会場・問合せ先



大阪市立住まいのミュージアム

大阪くらしの今昔館 **こんじかん**

The Osaka Museum of Housing and Living

TEL: 06-6242-1170 FAX: 06-6354-8601

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 住まい情報センター

《交通機関》

地下鉄谷町線・堺筋線、阪急線「天神橋筋六丁目」駅下車

③号出口より住まい情報センター建物の地階へ連絡

JR大阪環状線「天満」駅から徒歩7分



2月8日のシンポジウムに参加ご希望の方は、WEBまたはFAXでお申し込みください

応募者多数の場合は、抽選により参加者を決めさせていただきます。 **申込期限 1月25日(水) (必着)**

無料
Free

● WEBより

PCスマホより以下のQRコードの申し込みフォームへ入力



(HPアドレス)

<https://www.sumai-machi-net.com/event/portal/event/32681>

● FAXより (送信先FAX番号: 06-6354-8601)

氏名 (Name)		性別 (Sex)	Male / Female
国籍 (Nationality)		所属(学校・会社等) (Affiliation)	
住所 (Address)			
電話番号 (Phone Number)			
メールアドレス (E-mail)			

お申し込み時の個人情報は、本プロジェクトのみに利用させていただきます。